

淀川左岸線事業ワーキンググループからの報告

大阪都市再生環状道路(淀川左岸線)の全体図

全体図



淀川左岸線事業ワーキング・グループ審議経過

■委員

上原WG長、石田惣委員、上田委員、中川委員、 長谷川委員、谷川委員(R6年度)、西澤委員(R7年度)

■審議経過

開催回	開催日	審議事項など	審議範囲
第1回	R6.10.31	・淀川左岸線事業概要の説明 ・春夏調査結果の報告及び保全対策の必要性の審議 ・チガヤの保全について	延伸部
第2回	R6.12.06	・現地視察の実施 ・工事実施箇所状況確認	延伸部
第3回	R7.03.21	・現地視察の実施 ・工事影響範囲の変更について報告(仮堤防工事の範囲、根固め工の追加) ・工事計画の変更に伴う対応方針(案)の審議 ・秋冬調査結果の報告及び保全対策の必要性の審議 ・植生(ウラギク、シオクグ、ワンドスゲ、ヤガミスゲ、シロネ、チガヤ)の保全対策の審議 ・魚類、底生動物の保全対策の審議	延伸部
第4回	R7.06.23	・早春調査結果の報告及び保全対策の必要性の審議 ・植生の保全対策の修正について審議	延伸部
第5回	R7.10.27	・淀川左岸線延伸部 仮堤防工事に係る審議 ・仮堤防工事に係る重要種の保全対策について審議	延伸部
第6回	R8.02.09	・貴重植物(シオクグ、カモノハシ、ミコシガヤ、オガルカヤ)の本移植について審議 ・キャンセル掘削箇所(1工区)の最終評価について	2期

淀川左岸線(2 期)事業 環境対策について

1. 淀川汽水域におけるヨシの移植結果について

1.1 キャンセル掘削箇所における調査

令和元年度にキャンセル掘削が実施された 1 工区内、令和 2 年度にキャンセル掘削が実施された 2 工区内のそれぞれの場所に中津ヨシ原のヨシの根系入り表土を令和 3 年 3 月、4 月に移植した（図 1.1、図 1.2 参照）。令和 2 年 10 月からヨシの生育調査を実施しており、令和 7 年度は 1 工区を対象にヨシの生育調査を実施した。



図 1.1 調査地点位置図（1 工区）



図 1.2 調査地点位置図（2 工区）

- 左岸の現堤防を一時的に撤去する前に、高水敷に仮の堤防をつくり、そうすると、河積が減るので、河岸の一部をキャンセル掘削している。その際に、ヨシの生育条件に合わせて掘削した。
- 調査概要については、計測間隔は横断方向 1m 間隔・縦断方向 2m 間隔とし、調査測点において、「ヨシの草丈、被度 等」と、その他植物の分布状況を記録した。10 月に 1 回実施。

1.2 1 工区のキャンセル掘削箇所の状況

1 工区においては令和元年 5 月中旬に掘削が完了し、令和 3 年 4 月に中津ヨシ原のヨシの根系入り表土の移植が完了した。令和 7 年度の調査は移植してから 4 年 6 ヶ月が経過した状況である。

図 1.3～図 1.6 に示すとおり、ヨシが優占していた。随伴種はシオクグ等が確認された。

1 工区のキャンセル掘削箇所の状況



【自然ヨシ群落側】

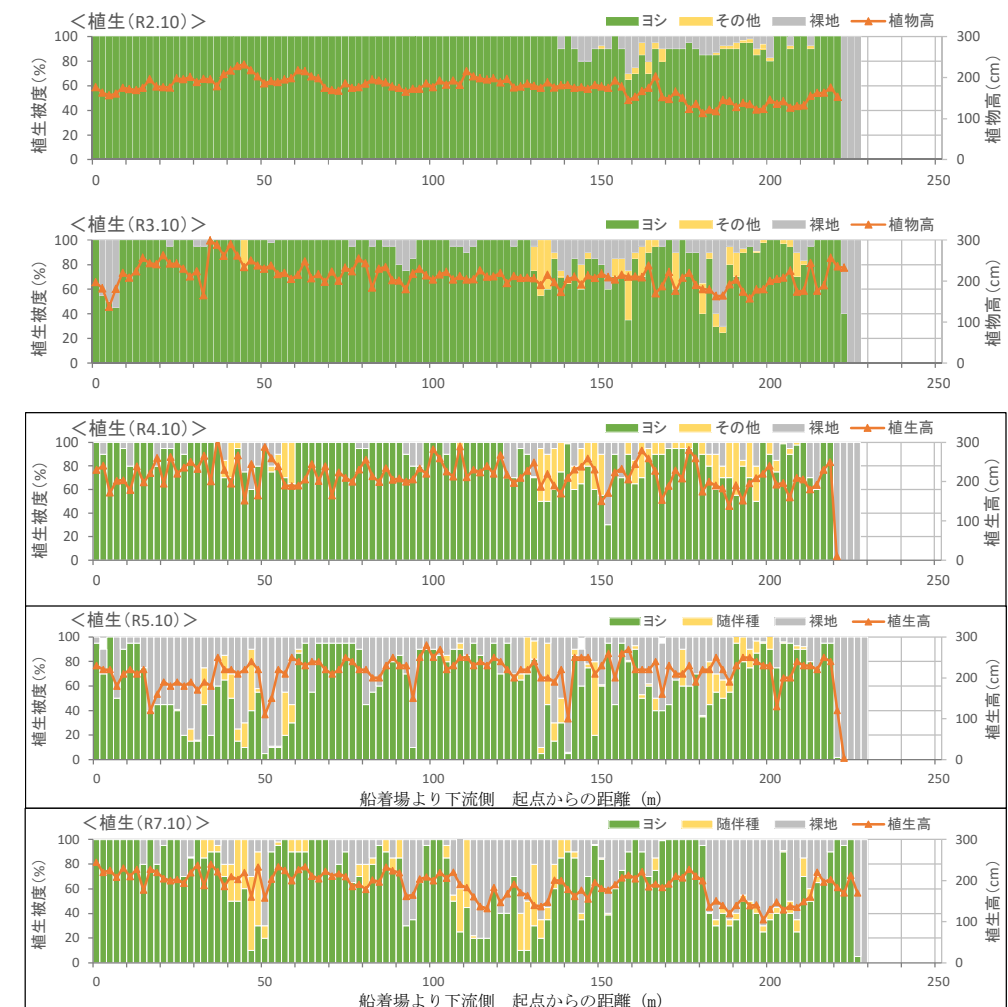
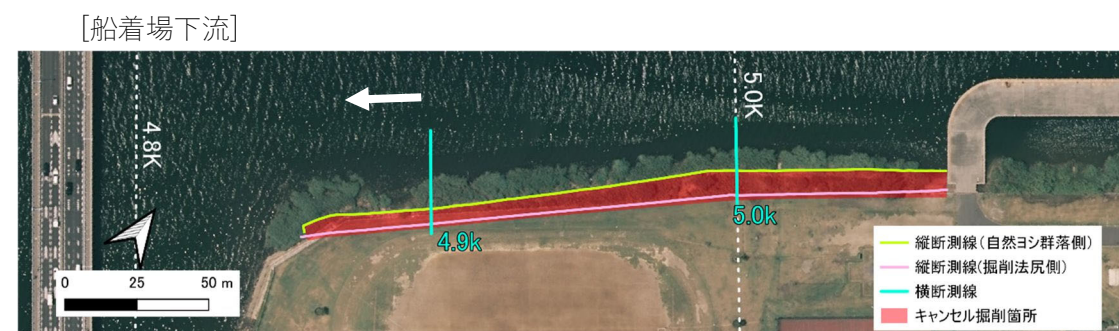


図 1.3 1 工区（船着場下流）の縦断測線におけるヨシの植生被度などの経年変化



【掘削法尻側】

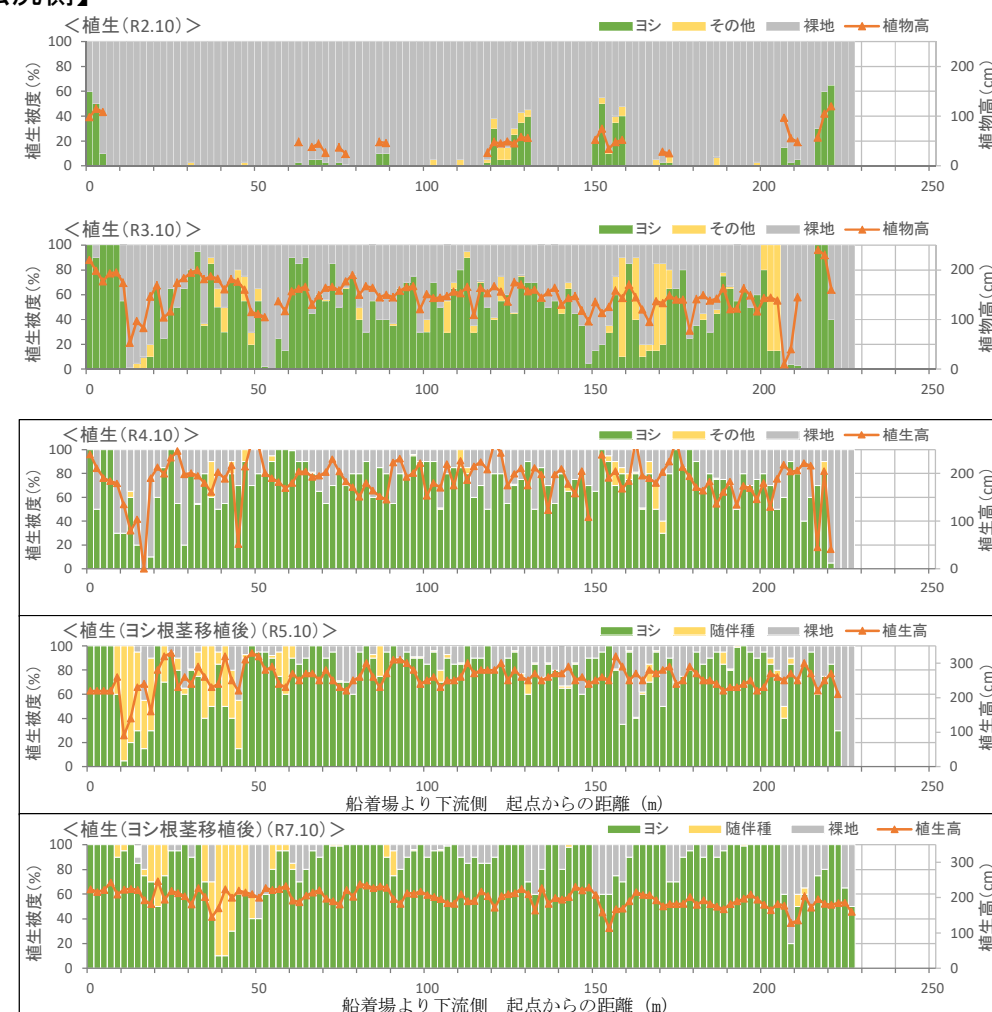
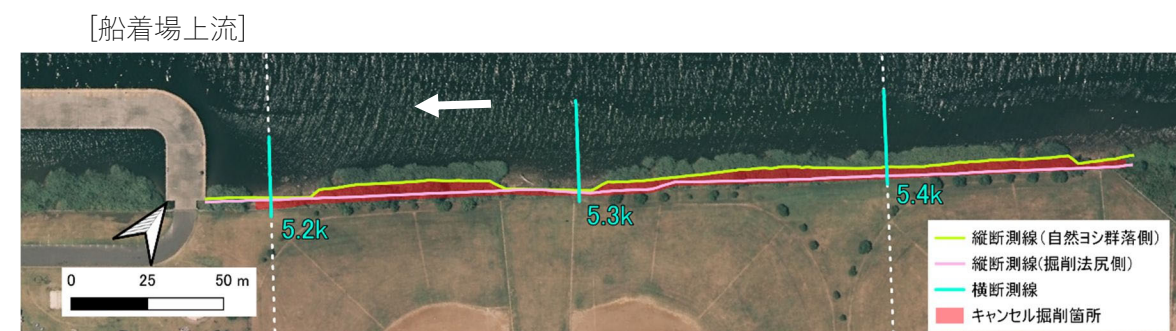


図 1.4 1工区（船着場下流）の縦断測線におけるヨシの植生被度などの経年変化



【自然ヨシ群落側】



図 1.5 1工区（船着場上流）の縦断測線におけるヨシの植生被度などの経年変化



【掘削法尻側】

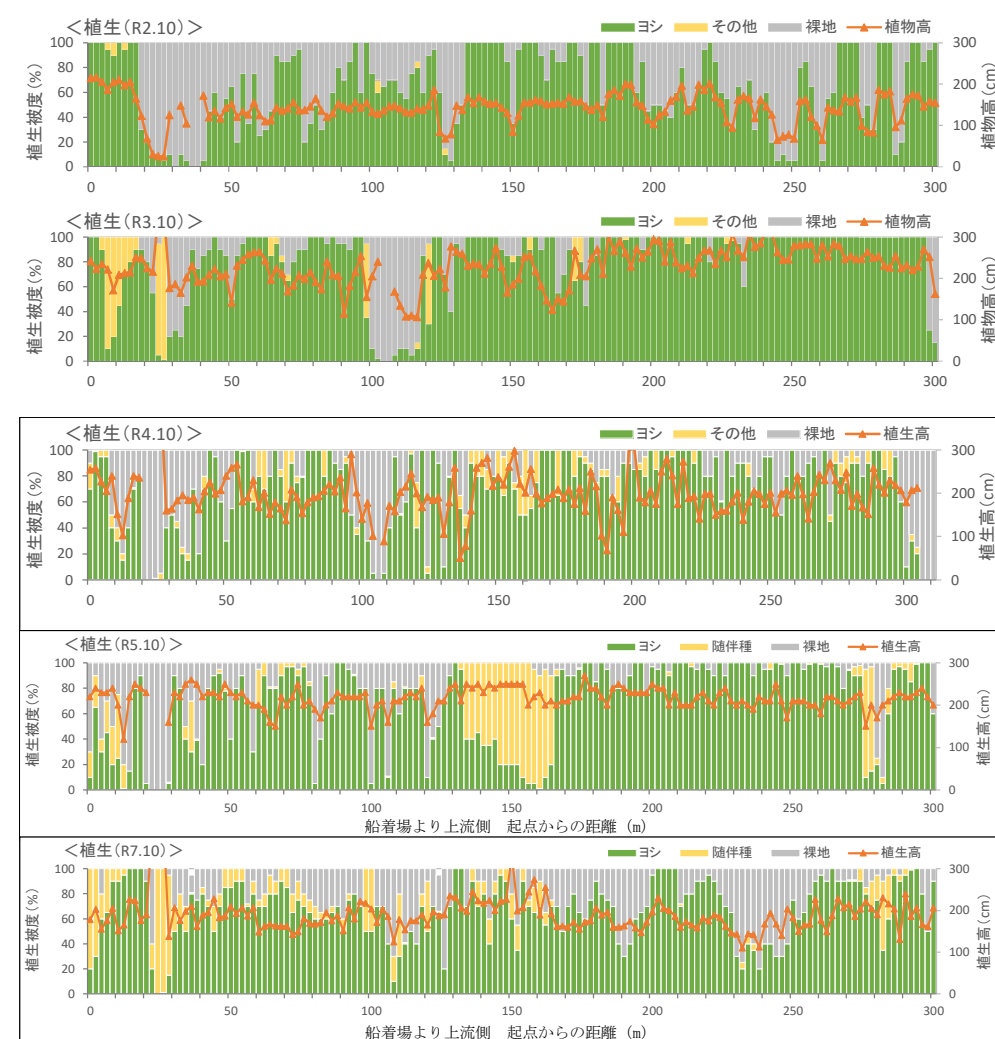


図 1.6 1 工区（船着場上流）の縦断測線におけるヨシの植生被度などの経年変化